

令和 2 年度決算に係る  
定期監査資料

令和 3 年 7 月

西部総合事務所  
日野振興センター日野振興局



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	2 頁
4	役付職員の調べ	3 頁
5	主な事業に関する調べ	4～11 頁
6	収入証紙取扱調べ	12 頁
7	現金の取扱状況	12 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	13～14 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	15～17 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	18 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	19 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	19 頁
13	備品の処分状況調べ	19 頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	19 頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	

## 【個別調査事項】

### 地域振興課

15	合同庁舎に入居している団体等の調べ	20頁
16	主な事務事業の実施状況	20～21頁
	(1) 管内地方機関及び市町村との連携	
	(2) 広聴、広報等	
	(3) NPO、ボランティアとの協働	
	(4) 国際交流の推進	
	(5) 地域振興	
	(6) 商工業の振興等	
	(7) 農商工連携の推進	
	(8) 危機管理の対応	
	(9) その他	

### 農林業振興課

15	事業別予算執行状況調べ	22～28頁
	(1) 事業の執行状況	
16	用地取得の状況調べ	28頁
17	登記の状況調べ	28頁
	(1) 登記の状況	
	(2) 未登記の解消状況	
18	林業改良指導活動状況調べ	29頁

### 農林業振興課農業振興室

15	事業別予算執行状況調べ	30～31頁
	(1) 事業の執行状況	
16	用地取得の状況調べ	31頁
17	登記の状況調べ	32頁
	(1) 登記の状況	
	(2) 未登記の解消状況	

### 日野農業改良普及所

15	事業別予算執行状況調べ	33頁
16	農業改良普及事業	33～35頁
	(1) 普及事業の実態	
	(2) 農業改良普及所の担当地区	
	(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況	
	(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況	
	(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示圃（農業改良普及活動促進事業）の設置状況調べ	
○	意見、要望等	36頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>令和元年度がんばる農家プラン事業費補助金について、実績報告書の受理が遅延していた。</p> <p>概要：補助事業者の日南町では、間接補助事業者の業務完了検査を平成31年4月26日に実施したとのことであるが、令和2年2月時点で県から町に当補助金が支払われておらず、県に実績報告書を提出してないことが判明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業者：日南町</li> <li>・間接補助事業者：農事組合法人U</li> <li>・補助金額：2,586,666円</li> <li>・事業完了日：H31.4.26</li> <li>・提出期限：R1.5.26</li> <li>・受理日：R2.2.18</li> <li>・遅延日数：8か月22日</li> <li>・発生の原因：補助事業者の提出遅延、担当者及び上司の進行管理不足</li> <li>・指摘の考え方：実績報告書の受理が著しく遅延しているもの（6か月以上の遅延）</li> </ul>	<p>1 原因 事業計画書に記載の事業完了予定日前に事業完了の見込期日を町に確認すべきであったが、所管課（農業振興室）での進捗管理が不徹底であった。 また、補助事業者である日南町に対する事業の進捗状況の確認作業が不足していた。</p> <p>2 処理方針 町からの顛末書を添付した実績報告書を受理し、処理済み。</p> <p>3 再発防止策 補助金一件ごとに補助事業の進捗管理表を作成し、随時進捗状況を把握するとともに、農業振興室内での情報共有に努める。 また、町の担当者から定期的に進捗状況を聞き取るなど、担当者間の連絡を密にする。</p> <p>4 措置状況 措置済み</p>

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和3年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	当 年 度	2.4.1 現 在	当 年 度	2.4.1 現 在	当 年 度	2.4.1 現 在	当 年 度	2.4.1 現 在	
定 員	12	12	27	27	0	0	39	39	
現 員	( ) 13	( ) 13	(1) 27	(1) 26	( ) 0	( ) 0	(1) 40	(1) 39	(公財)鳥取県造 林公社派遣
過不足(△)	1	1	0	△1	0	0	1	0	中山間地域振興 リーダーに事務 職を充当 農林技師1名が育 児休業取得予定 のため1名加配
臨 時 的 任 用 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会 計 年 度 任 用 職 員	3	3	4	4	2	2	9	9	事務員2 警備員2 自然保護監視員1 森林保全巡視指 導員4

## 4 役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
日野振興センター所長	栃本 義博	0	3	
日野振興局長 兼地域振興課長	(兼) 宮永 二郎	0	3	西部県税事務所日野支所長
日野振興局副局長 兼農林業振興課長	若松 理恵	1	2	2年3月
地域振興課 参事兼課長補佐	野間 禎治	0	3	
地域振興課 課長補佐	(兼) 藤井 理恵	3	3	出納員 西部県税事務所日野支所課長補佐
地域振興課中山間地域 振興リーダー	(兼) 川上 宏	2	3	中山間振興統括本部課長補佐
地域振興課 課長補佐	宮本 圭子	2	3	
地域振興課 課長補佐	田辺 晶子	0	3	5年3月
地域振興課 課長補佐	(兼) 五百川 和久	0	3	西部県税事務所日野支所課長補佐
農林業振興課 課長補佐	小山 敢	1	2	
農林業振興課 普及主幹	(兼) 田中 寛貴	0	3	1年3月 農業振興監生産振興課課長補佐
農林業振興課 課長補佐	大原 守雄	0	3	
農林業振興課 課長補佐	(兼) 米村 浩二	2	3	5年3月 米子工事検査事務所課長補佐
農林業振興課 農業振興室長	(兼) 松原 順子	2	0	西部総合事務所県民福祉局農商 工連携チーム参事
農林業振興課農業振興 室課長補佐	(兼) 三浦 泰忠	1	3	鳥獣対策センター課長補佐 西部総合事務所県民福祉局農商 工連携チーム課長補佐 農業振興監生産振興課課長補佐
日野農業改良普及所長	小林 弘昌	0	3	
日野農業改良普及所 普及主幹	山下 幸司	0	3	
日野農業改良普及所 普及主幹	龜田 修二	2	3	
日野農業改良普及所 普及主幹	(兼) 入江 誠一	1	3	3年3月 西部総合事務所県民福祉局農商 工連携チーム課長補佐
日野振興局参事	井殿 啓法	0	3	公益財団法人鳥取県造林公社へ 派遣

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県日野郡連携会議	4	0	0	0	4
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>「鳥取県日野郡ふるさと広域連携協約」(平成27年7月1日発行)による県と日野郡3町の柔軟で機動的な仕組みの中で、圏域における行政サービスの維持及び向上並びに効率的な行政運営を促進することにより、共通する課題を解決し、一体的かつ持続的な圏域の発展に寄与する。</p> <p>【根拠】平成26年11月に施行された地方自治法改正による新たな自治体間連携の仕組み「連携協約」制度。地方自治法第252条の2</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>a 連携会議(1回開催予定)</p> <p>鳥取県日野郡連携会議を3月に開催予定である。知事と日野郡3町長が下記の喫緊の課題について議論を交わし、会議結果を総括した共同宣言を行う予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 日野郡における医療連携の推進について</li> <li>(b) 日野郡のふるさと教育の進展について</li> <li>(c) 行政のデジタル化に対応するための共同事業の実施について</li> </ul> <p>b 町長・センター所長会議(1回開催)</p> <p>地域交通の課題や事例について情報共有し、日野郡における新たな地域交通システムについて意見交換した。</p> <p>c 副町長・センター所長会議開催(3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各町と県との連携の提案、検討</li> <li>・事業の進捗状況の確認、課題の検討状況の舵取りなど</li> </ul> <p>d 主な実施状況</p> <p>(a) 事業、活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援のための個別相談、集団教室の実施</li> <li>・県道の道路維持や除雪の一部を町に委託して実施</li> <li>・除雪機械運転手育成支援のための免許取得費用助成</li> <li>・日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊による侵入防止柵の設置・管理指導</li> <li>・公設塾「まなびや縁側」のオープン</li> <li>・県・町職員合同研修の開催</li> <li>・災害時の学校給食相互支援の実動訓練(※新型コロナウイルス感染症の影響で中止)</li> </ul> <p>(b) 検討、課題研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路維持、除雪のあり方検討</li> <li>・鳥獣被害対策協議会実施隊のあり方検討</li> <li>・特定地域づくり事業協同組合制度についての副町長勉強会</li> <li>・路線ごとの将来人口シミュレーションを参考にした将来、未来の地域交通の検討</li> <li>・行政のデジタル化に向けた情報共有</li> </ul>					



イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・令和元年12月に開催した連携会議において、県と3町が連携して進めることに合意した「地域の担い手の育成、確保」、「住み慣れた地域で暮らし続ける仕組みづくり」が一層の推進するような取り組みを行った。

ウ 成果及び効果

- ・地域の担い手確保を目的とした特定地域づくり事業協同組合について、副町長を対象に、県庁の担当課や中小企業団体中央会なども招いて勉強会を開催し日野郡での事業の推進を図った。勉強会での課題整理などが日野町での取り組みの円滑化につながり、令和3年1月に「日野町未来づくり事業協同組合」が設立され令和3年度から事業が開始されることとなった。

(設立された特定地域づくり事業協同組合の概要)

名 称：日野町未来づくり事業協同組合（令和3年1月15日設立）

組合員：日野町内の農林業者4者

事業内容：組合員が行う農林業（間伐、機械オペレーター等）の実施に人材を派遣

- ・地域の担い手の育成などを目的に、3町が連携して日野郡の高校生及び日野高生を対象にふるさと教育を行う公設塾を開設した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり予定していた年度当初からの開講とはならなかったが、PRやイベント等を日野高校とも連携し工夫しながら行い、9月にグランドオープンすることができた。初年度目標5名を上回る7名の入塾があり、来年度には入塾したいとの声も聞いており、生徒や保護者への認知も進んでいる。

(公設塾の概要)

名 称：公設塾「まなびや縁側」 設置場所：日野町根雨

対 象：日野郡の高校生及び日野高生

講 師：3名（各町が地域おこし協力隊制度を活用して1名づつ雇用）

塾 生：7名（初年度の目標人数は5名）

- ・将来、未来の地域交通システムのあり方検討が進むよう、3町のバス路線ごとに年代別の将来人口推計を行い、その結果を3町に示し、問題を再認識し共有できたことで、検討の活性化を図った。

推計実施路線数： 日南町9路線 日野町 12路線 江府町7路線 計28路線

エ 課 題

急激な人口減少が進む日野郡において、住民生活を維持し、持続可能な地域を作っていくために、アフターコロナも含めた新型コロナウイルス感染症対策やデジタル社会の実現の加速化等の新しい動きも反映させながら、背景とした迅速かつ柔軟な対応が求められる。

連携会議の枠組みを活用した地域の課題解決を図る上で、3町がそれぞれの町の実情や方向性を踏まえ、新たな課題を認識し、連携による課題解決策を自ら考え、取り組みを行っていくことが求められ、県としても、そのための情報提供や検討の場づくりなどを行っていく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
地域間交流の促進	1,050	0	0	1,050
将来ビジョン	—			
令和新時代創生戦略	—			
政策項目	—			
(概要)				
人口の減少が見込まれる日野郡において、地域資源を活用しながら地域間の交流を通じた環境保全、広域観光を通じた交流人口増加の取組を進めるため、県が事務局を担っている2つの団体と協調しながら関連する事業を行っている。				
(1) 日野川の源流と流域を守る会				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
「日野川流域の自然環境を守り、子ども達に美しい日野川をひきつぐ」ため、森、川、海を守る環境保全活動、流域の歴史や文化を学ぶ活動、上流域と下流域の交流推進活動を実施する。				
※「日野川の源流と流域を守る会」				
日野川の自然を守り、恵まれた環境を次世代に引き継ぐため平成14年に設立。 行政、民間団体、及び一般の法人・個人会員で形成されている(事務局は日野振興局)。				
(イ) 事業の実施状況				
a 森林整備体験&こだわりの日南トマト栽培視察+若杉山探訪(森や川、海を守る活動)				
・8月2日 参加者23名				
b 日野川フォトコンテスト(日野川流域憲章記念事業)				
・募集6月29日～11月6日 応募作品46点				
・作品展7月～10月、西部地区4箇所(※)巡回展示				
※米子市児童文化センター、鳥取県立大山自然歴史館、日南町役場、米子市立図書館				
c 会報「ひのがわ」第36号及び第37号の発行(情報発信事業)				
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画していた、体験・交流活動事業が計画通り実施できなかったことから、会の活動を広く知ってもらう方策としてメディアへの露出の増加や行政の広報ツールの活用を図った。				
・日野川フォトコンテスト作品展でより効果的な情報発信ができるよう会場や回数を見直した。				
ウ 成果及び効果				
・メディアへの積極的なアプローチにより、中海テレビ、伯耆町CATV、ダラズFMへの出演が実現し、会の活動の周知が図られた。				
・フォトコンテストの開催告知について、初めて日野郡3町、米子市、伯耆町の広報紙の掲載枠をいただき、昨年より多くの応募に繋がった。				
応募件数：令和2年度 46点(応募者28名) 令和元年度 35点(応募者15名)				
・フォトコンテスト作品展を集客力のある会場に変更し、回数を4回に増やし、会場ではコンテストの作品と共に会の活動なども展示し、会の活動をより広くPRできた。				
また、大山自然歴史館での作品展においては、奥日野たたら製鉄パネル展も同時に実施し、相乗効果による訴求力のある日野郡の魅力発信ができた。				
・これらの取組により会の目的や活動がより多くの方々に知ってもらえ、新規会員の獲得に繋がった。				
※会員数 R1末 386(団体80、個人306) R2末 391(団体84、個人307)				
エ 課題				
・会の目的である「日野川の自然環境を守り次世代への継承」の実現のため現会員を維持し、新規会員を獲得して会の活動を活性化させることが求められている。そのために、「日野川源流と流域を守る会の一層のPR」と「多様で幅広い年齢層の方々が参加できる魅力ある企画の実施」が必要である。				

## (2) 日野郡広域交流促進協議会

### ア 目的及び事業の実施状況

#### (ア) 目的

中山間地域特有の諸問題を抱える日野郡において、地域の関係者と連携し、地域資源を活かした日野郡版ニューツーリズムに取り組むことで、日野郡の交流人口を増加させ、地域資源の保全や地域活性化につなげる。

#### ※「日野郡広域交流促進協議会」

日野郡の交流人口を増やすため、行政と観光協会や商工団体等の民間で組織（事務局は日野振興局）。主には県の補助金や町の負担金を活用して、地域資源の磨き上げ及び情報発信を行っている。

#### (イ) 事業の実施状況

##### a モニターツアーの実施（磨き上げ事業）

- ・ 8月27日 参加者11名（キャンセル6） ブルベリファーム→木谷沢→鍵掛峠→ガンバリス
- ・ 9月1日 参加者12名 解脱寺→井谷旅館→トマト狩り→金持神社
- ・ 9月27日 参加者10名（キャンセル14） 象山→擬宝珠山→鏡ヶ成散策
- ・ 10月10日 参加者29名（バス増便対応） 象山→鏡ヶ成散策

##### b イベントカレンダー「日野軍★秋の陣」の発行（情報発信事業）

- ・ 日野郡の秋イベントを掲載 B4 両面版 20,000部発行（米子市周辺に新聞折込）

##### c フリーペーパーを活用した情報発信（3回）（情報発信事業）

- ・ 地域みっちゃく生活情報誌こはく（米子周辺 55,380世帯に無料配布）へ情報掲載
- ・ 掲載内容…8月号（夏休みキャンプへの誘客）/10月号（厄除け、開運、癒しをテーマに誘客）/11月号（紅葉のPRとランチ、道の駅誘客）

##### d デジタルサイネージを活用した情報発信（情報発信事業）

- ・ 米子市公会堂交差点イースティープレイス（旧えるもーるパーキング）大型ビジョンで日野郡紅葉PRCMの放映（10月28日から11月3日の7日間）

#### イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 郡外からの誘客については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により県外との往来が制限される中、ターゲットを米子市周辺の在住者に絞って事業を行った。
- ・ 多くのイベントが中止となり、観光地や集客施設に人が集まらないため、情報発信の手法は、印刷物の発行、配布、配架によるものを縮小し、フリーペーパーやデジタルサイネージなど顧客に直接情報が届く媒体を中心に行った。

#### ウ 成果及び効果

- ・ 情報発信では紅葉シーズンの誘客に特に力を入れたところ、地域団体のPR、マスコミ報道との相乗効果もあり多くの人出となり、地域に活力を与えた。（例：【日南町】旧日野上小学校大銀杏、延べ7,000人）
- ・ モニターツアーでは、新たにトレッキングをメインにしたコースを設定したところ、米子市周辺の近隣地域から申込が殺到し、必ずしも遠くからの集客を目指さなくとも、近隣との地域間交流で、地域が活性化するということがわかった。

#### エ 課題

- ・ 日野郡は人口減少が極めて深刻な状況であるが、地域の活力を維持していくために、地域間交流により交流人口の増加を図り、地域の賑わいを創出することがより一層強く求められている。そのための活動を今後も社会情勢に合わせながら継続していく必要がある。
- ・ 広域観光にも注力しているところであるが、地域内（近隣地域間）での需要の掘り起こし（内需の拡大）についても継続して取り組んでいく必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響がある中での取組から得た気づきを今後活かさなくてはならない。

(単位：千円)

事業名	決算（見込）額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
林業成長産業化地域創出モデル事業	81,250	81,250			
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				

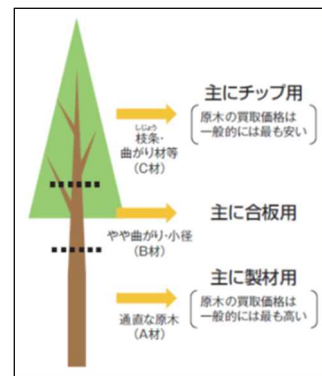
(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・平成29年度に国から「林業成長産業化地域」に選定された日南町の取組を支援し、木材のカスケード利用を軸とする新たな循環型林業創出を目指す。

〔参考：木材のカスケード利用〕  
 木材を建材等の資材として利用した後、LVL や合板、紙等の利用を経て、最終段階では燃料等に使うなど、良いものから順々に利用して最後まで余すことなく使い尽す考え方。



(イ) 事業の実施状況

(単位：千円)

主な事業内容	事業費	補助金
木材加工処理施設の整備（事業主体：日南大建株、補助率：国1/2以内） ・防腐・防蟻VL処理施設の整備について支援した。	223,905	75,000
循環型林業の事業化に向けての認定取得、調査・試験等（補助率：国10/10以内） ・不燃VLの大臣認証の申請、DWファイバーの市場調査・商品開発を支援しているところ（事業主体：大建工業株）。 ・不在村地主等が所有する山林を町が集約化するため、山林採納の課題整理を支援した（事業主体：日南町）。	6,338	5,950
木育の推進（事業主体：日南町、補助率：国10/10以内） ・生涯森林教育カリキュラムの作成を支援しているところ。	300	300
計	230,543	81,250

イ 令和2年度事業実施に当たり改善等に取り組んだ点  
特になし

ウ 成果及び効果

- ・木材のカスケード利用に向けて、木材の高付加価値化施設を整備した。また、これまで未利用であった樹皮、端材等を有効活用するため、発電・加工施設の設計等に着手した。  
 ○防腐・防蟻VL処理施設（高付加価値化）：令和2年8月完成、11月起動（令和3年4月のAQ認証取得予定）  
 ○木質バイオマス発電（未利用材利用）：経済産業省へのFIT認証の申請が完了、詳細設計に着手  
 ○DWファイバー製造（未利用材利用）：販路の具体化
- ・循環型林業に必要な苗木生産に向けて、コンテナ苗木生産施設の整備計画（事業規模：年12万本生産、事業費：約1億円）を具体化させた（R3完成、稼働予定）。

エ 課題

- ・主な事業地となる「日野川の森林木材団地」を拡張造成しているところであり、団地造成の進捗を考慮しながら関係者と今後整備を予定している施設の事業計画、整備方針について検討する必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳											
		国庫支出金	起債	その他	一般財源								
日野郡鳥獣被害対策協議会支援事業	450				450								
将来ビジョン	—												
令和新時代創生戦略	—												
政策項目	—												
(概要)													
ア 目的及び事業の実施状況													
(ア) 目的													
<ul style="list-style-type: none"> <li>日野郡では、3町と県が締結した「鳥取県日野郡ふるさと連携協定」に基づき、郡内3町、関係団体及び県で構成する「日野郡鳥獣被害対策協議会(以下、「協議会」という。)」を設立し、深刻化する野生鳥獣被害に対し、町を超えた被害対策を展開している。</li> <li>協議会の実働部隊は実施隊であり、4名の実施隊員が各町から併任の辞令を受け、各種研修、調査等の被害防止活動にあっている。被害防止活動推進に要する経費(各種講習会への参加経費、鳥獣被害状況確認に要する経費)の財源は国庫(定額)が主体である。</li> <li>本補助金は、国庫補助事業で支援対象とならない活動経費(協議会の運営及びその実務を担う実施隊の育成経費など)を町と県で連携して支援(町3/4、県1/4)することにより、日野郡における総合的かつ効果的な鳥獣被害対策を推進することを目的とする。</li> </ul>													
(イ) 事業の実施状況													
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象経費(国庫の対象外となる日野郡鳥獣協議会の活動経費)</li> </ul>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>執務室設置及び運営</td> <td>事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等</td> </tr> <tr> <td>公用車借上及び利用</td> <td>車両借上料、燃料費等</td> </tr> <tr> <td>実施隊員育成</td> <td>研修参加旅費、狩猟免許等取得費等</td> </tr> </tbody> </table>		項目	事業内容	執務室設置及び運営	事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等	公用車借上及び利用	車両借上料、燃料費等	実施隊員育成	研修参加旅費、狩猟免許等取得費等				
項目	事業内容												
執務室設置及び運営	事務所等借上料、パソコン利用料、通信費、機材工具等												
公用車借上及び利用	車両借上料、燃料費等												
実施隊員育成	研修参加旅費、狩猟免許等取得費等												
【協議会の主な活動状況】													
<ul style="list-style-type: none"> <li>現地巡回、被害状況の確認、集落での鳥獣侵入防止柵設置研修会の開催、相談窓口の開設</li> <li>講習会の開催や農林水産省、自治体等が主催する講習会における講師派遣、研修会への参加</li> <li>鳥獣誘因及び捕獲手法の試作、ドローンを活用した被害確認実証、ケーブルテレビでの広報活動</li> </ul>													
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点													
特になし													
ウ 成果及び効果													
<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣被害防止の巡回及び被害調査の出動回数は年289回*と減少したが、地域ぐるみでの侵入防止柵設置への支援のための現地研修会を前年度と同様の13集落で実施し、被害防止に寄与した。 (*日南町127回、日野町79回、江府町83回)</li> <li>江府町役場に鳥獣被害対策相談窓口を6月より月1回設置するとともに、ケーブルテレビ放送での侵入防止柵設置方法の紹介、協議会のPR活動など新型コロナウイルス感染症の影響で新しい広報活動を試行した。</li> <li>日野郡での捕獲が増加しているニホンジカ対策として被害防止計画の捕獲頭数の見直しや森林被害対策の検討会立ち上げに携わり、造林地での対策手法の検討を行った。</li> <li>クマ出没時の初動対応など危険を伴う活動は2人1組体制で行い、隊員の安全性確保に努めた。</li> </ul>													
エ 課題													
<ul style="list-style-type: none"> <li>農林業への被害が懸念されるニホンジカへの対策と捕獲獣の適切な処分のための施設設置を検討する必要がある。</li> <li>クマ対策としての放任果樹の除去や侵入防止柵の設置・維持管理など地域での取り組みへの支援が必要である。</li> <li>実施隊員のスキルや経験の定着促進と継承に向けた隊員の待遇改善や組織の体制強化を検討する必要がある。</li> </ul>													

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県農業改良普及事業	2,678	863			1,814
将来ビジョン	ひらく 地域で県外で国外で新時代に向かって扉をひらく				
令和新时代創生戦略 政策項目	豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 農林水産業 農林水産業の活力増進 —				
(概要)					
<p>本事業に基づいた改良普及員の普及指導計画(作物班3、野菜花き班2、広域果樹班1、畜産班1、総合支援班3)のうち令和2年度普及外部評価検討会(予定)の評価対象である「畜産産地再興を目指した担い手育成と支援」(畜産班)について記述する。</p>					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
(1) 日野郡における繁殖和牛の子牛販売価格は県平均を上回るものの、セリ市場での販売格差が大きく、価格が低い農家に対し育種価が高い母牛への更新や最新のゲノム育種価を活用した改良推進が必要である。					
(2) 「鳥取県和子牛育成技術マニュアル」(2009年3月)に基づいて飼養し、一定の基準以上の生育が確認できた合格の子牛がM牛であり、一般的にM牛はセリ価格が高くなる傾向が見られる。この合格率の向上を目指し個々の意識向上と全体の技術レベルの底上げを図ることにより産地の育成を目指す。					
(3) 産地の縮小に歯止めをかけるため、若手和牛農家の重点指導や新規和牛繁殖農家の確保に取り組む。					
(イ) 事業の実施状況					
(1) 郡内生産者がゲノム育種価の高い母牛を保留するため、研修会や個別巡回により、当該するデータ説明を行なった。また、淘汰すべき牛について助言したり、酪農家の借り腹契約のマッチングにも取り組んだ。					
(2) M牛取組農家に対し畜産試験場での研修を実施するとともに、個別で巡回し、発育調査や改善に向けた助言を行うなどにより飼養技術の向上を図った。					
(3) 若手和牛繁殖農家に寒さ対策や飼料費削減の助言等で支援を行った。					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別巡回だけでなく、全体での研修会実施や情報提供の方法を工夫した。</li> <li>・県で休止しているM牛の合否判定を郡内単独で行い、継続して情報を提供することで農家のモチベーション維持に努めた。</li> </ul>					
ウ 成果及び効果					
(1) 適切な管理の実施や保留意識の高まりにより、郡内産の脂肪交雑ゲノム育種価1位の産子牛を郡内別の農家が購入するなどして、高能力和牛を地域に保留することができた。 <b>&lt; 前年12頭 → R2目標15頭 / R2実績16頭 &gt;</b>					
(2) 牛のせり場で農家に良い結果を認識させるなどによりモチベーションが上がり、M牛の合格率が向上した。 <b>&lt; 前年 60% → R2目標 65% / R2実績 67% &gt;</b>					
(3) 日野町下榎地区の空き牛舎をレンタルする仕組みができ、新規和牛農家を確保する足掛かりができた。					
エ 課題					
(1) 目的どおりの成果が得られなかった事項					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の和牛繁殖農家の確保はできなかった。<b>&lt; 目標1戸 → 実績0戸 &gt;</b></li> </ul>					

(2) 成果は得られたが、さらに経済的・効率的な方法が考えられる事項

- ・特になし。

(3) 次年度以降、取り組むべき事項

- ・ゲノム育種価は最新データの情報伝達が必要で、個別説明だけでなく全体への周知強化を行う。

- ・依然M牛合格率が低い農家があり、支援強化により底上げを図る。

- ・レンタル牛舎の仕組みや和牛繁殖の収益性等をまとめた指導資料を作成する等によりJAや町と連携し、新規和牛繁殖農家の確保に向けて取り組む。

6 収入証紙取扱調べ

有 ・ 無

7 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(令和3年1月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備 考
物品売払収入	21,085	11	刊行物、ピンバッジ、特別栽培シール
物品売払収入	1,120	1	管内図(日野県土整備局収入)
雑入	680	16	コピー代、情報開示請求CD-R代、公衆電話料金
合 計	22,885	28	

(2) つり銭の状況

(令和3年1月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	30,000
--------	---	----------	--------



8 財産に関する調べ  
 (1) 公有財産  
 ア 土地

(令和3年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	(内訳)		11,657.31	不明	増加	R			R			11,657.31	不明	
計			11,657.31	不明	減少	R			R			11,657.31	不明	
普通財産	(内訳)		2,149.54	不明	増加	R			R			2,149.54	不明	
計			2,149.54	不明	減少	R			R			2,149.54	不明	
合計			13,806.85	不明								13,806.85	不明	

イ 建物

(令和3年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	(内訳)		5,394.29	不明	増加	R			R			5,394.29	不明	
計			5,394.29	不明	減少	R			R			5,394.29	不明	
普通財産	(内訳)		1,023.71	不明	増加	R			R			1,023.71	不明	
計			1,023.71	不明	減少	R			R			1,023.71	不明	
合計			6,418.00	不明								6,418.00	不明	

ウ 山 林

該当なし

エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

（ア）異動状況

該当なし

（イ）出願及び登録の状況

該当なし

（ウ）活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

（２）金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

（令和３年１月３１日現在）

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		差引使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
47枚	0枚	0枚	47枚
		0円	

9 財産の貸付け及び使用許可調べ  
 (1) 土地及び建物  
 ア 土地

(令和3年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付目的(使用許可)	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	電気通信設備設置	日野郡日野町根雨19-1	1本	R2.3.3	H22.3.30	R2.4.1~ R7.3.31	月額・年額	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店		
	駐車場	日野郡日野町根雨140-1	22.8㎡	R2.3.9	H15.4.1	R2.4.1~ R3.3.31	月額・年額	4,508	鳥取市千代水4丁目37 (公財)鳥取県造林 公社		
	駐車場	日野郡日野町根雨71-1	10㎡	R2.3.9	H30.3.13	H2.4.1~ R3.3.31	月額・年額	1,960	鳥取市千代水4丁目37 (公財)鳥取県造林 公社		
	駐車場	日野郡日野町根雨71-1	10㎡	R2.3.24	H26.4.17	R2.4.1~ R3.3.31	月額・年額	1,960	日野郡日野町根雨 140-1 日野郡鳥獣被害対策 協議会		
	現場事務所	日野郡日野町根雨71-1	150㎡	R2.8.26	R2.8.26	R2.9.1~ R3.2.28	月額・年額	43,737	米子市吉岡319-15 (有)新生電気工事		
計								53,665			
普通財産	共架電柱・支線	日野郡日野町舟場162-1	電柱1本 支線1本	R2.3.4	H12.4.1	R2.4.1~ R7.3.31	月額・年額	3,000	米子市加茂町2-51 中国電力ネットワー ク(株)米子ネット ワークセンター		
	共架電柱	日野郡日野町舟場162-1	1本	R2.3.4	H22.3.26	R2.4.1~ R7.3.31	月額・年額	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店		
計								4,500			
合計								58,165			

イ 建物

(令和3年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	先	
行政財産	放射線モニタリングシステム設置	日野郡日野町根雨140-1	2.63㎡	R2.3.24	H26.2.27	R2.4.1~ R3.3.31	月額・年額	0	原子力安全対策課	使用承認	
	ダム放流時通報装置	日野郡日野町根雨140-1	0.53㎡	R2.2.28	H15.4.1	R2.4.1~ R3.3.31	月額・年額	9,960	広島市中区小町4-33 中国電力(株)		
	設計書閲覧用複写機設置	日野郡日野町根雨140-1	1.34㎡	R2.3.6	H15.4.1	R2.4.1~ R3.3.31	月額・年額	13,280	倉吉市福庭町2丁目23 (公財)鳥取県建設技術センター		
	事務室	日野郡日野町根雨140-1	76.5㎡	R2.3.9	H15.4.1	R2.4.1~ R3.3.31	月額・年額	255,640	鳥取市千代水4丁目37 (公財)鳥取県造林公社		
	事務室	日野郡日野町根雨140-1	18㎡	R2.3.24	H26.3.28	R2.4.1~ R3.3.31	月額・年額	59,760	日野郡日野町根雨140-1 日野郡鳥獣被害対策協議会		
計								338,640			
普通財産											
計								0			
合計								338,640			

## (2) 物品

(令和3年1月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
天体望遠鏡	1台	VIXEN ポルタII A80Mf	R2.10.16~ R2.10.20	月額・年額	無料	西伯郡南部町法勝寺 377-1 南部町企画政策課	緑水園オートルキ ヤンプ場	星空イベントの際の観望会で使用		
双眼鏡	3台	VIXEN Z8×24	R2.10.16~ R2.10.20	月額・年額	無料	西伯郡南部町法勝寺 377-1 南部町企画政策課	緑水園オートルキ ヤンプ場	星空イベントの際の観望会で使用		
天体望遠鏡	1台	VIXEN ポルタII A80Mf	R2.10.26~ R2.11.2	月額・年額	無料	個人	大山まきばみる くの里	星空観察で使用		
天体望遠鏡	1台	VIXEN ポルタII A80Mf	R2.11.6~ R2.11.9	月額・年額	無料	西伯郡南部町法勝寺 377-1 南部町企画政策課	緑水園オートルキ ヤンプ場	星空イベントの際の観望会で使用		
双眼鏡	3台	VIXEN Z8×24	R2.11.6~ R2.11.9	月額・年額	無料	西伯郡南部町法勝寺 377-1 南部町企画政策課	緑水園オートルキ ヤンプ場	星空イベントの際の観望会で使用		
合計										

10 借受不動産明細調べ

(令和3年1月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況		借受先		備考	
						借受期間	借料(円)	住氏名	備考		
						借料(円)	単価	本年度の借料			
土地	保安林	俣野毛無山線 歩道用地	江府町大字俣野 字篠谷山1-2、 1-4	1,636. 97㎡	有	H17.8.1~ R3.3.31	月額・年額	無料	江府町大字江尾1717-1 神奈川財産区管理者 江府町長	自動更新	
	保安林	俣野毛無山線 歩道用地	江府町大字俣野 字篠谷山1-3、 足奥谷648-10	309.60 ㎡	有	H17.8.1~ R3.3.31	月額・年額	無料	江府町大字江尾1717-1 江府町長	自動更新	
	保安林	俣野毛無山線 歩道用地	江府町大字俣野 字篠谷山1-1	854.00 ㎡	有	R1.10.1~ R6.9.30	月額・年額	無料	鳥取市吉方109 鳥取森林管理署長		
	雑種地	俣野毛無山線 歩道用地	江府町大字俣野 字篠谷山1-8	147.60 ㎡	有	H17.8.1~ R3.3.31	月額・年額	1,800	鳥取市新品治町1-2 中国電力(株)鳥取支社長	自動更新	
	保安林	船通山制札版 用地	日南町大字上菽 山滑鉄所1739-4	6.00㎡	有	H17.11.10~ R3.3.31	月額・年額	無料	個人(3名)	自動更新	
	原野	鍵掛峠園地事 業	江府町大字御机 字大平原837-5	6.93㎡	有	H17.6.22~ 園地事業廃 止まで	月額・年額	無料	江府町大字江尾1717-1 米澤財産区管理者 江府町長		
	電柱	防災行政無線 ケーブル添架	日野郡日野町根 雨地内	1条	有	H15.3.7~ R3.3.31	月額・年額	880	岡山市北区中山下2-1- 90 西日本電信電話(株) 岡山支店		
	その他 構築物	電源用ケーブ ル添架	江府町御机地内	1本 1条	有	H17.7.22~ R3.3.31	月額・年額	1,320	岡山市北区中山下2丁目 1-90 西日本電信電話(株) 岡山支店長	自動更新	
	合計								4,000		

1 1 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

1 2 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

1 3 備品の処分状況調べ

該当なし

1 4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無





# 地域振興課



15 合同庁舎に入居している団体等の調べ

(令和3年1月31日現在)

団体名	職員数 人	当初入居 の年月日	面積 ㎡	職員1人 当たりの 面積 ㎡	許 可 使 用 料 (月又は年 額) 円	減免 率 %	共 益 費 の 負 担 方 法	備 考
(公財)鳥取県 造林公社	7	H15.4.1	76.5	10.9	255,640	66	上下水道：人数 割、電気：面積割	
日野郡鳥獣被 害対策協議会	3	H26.3.28	18	6	59,760	66	上下水道：人数 割、電気：面積割	

16 主な事務事業の実施状況

(1) 管内地方機関及び市町村との連携

「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載

(2) 広聴、広報等

① 県政相談等の処理

<令和2年4月～令和3年1月>

相談の種類	面談	電話	郵送・FAX・メール等	計
県民の声	0件	0件	2件	2件

※県民の声については、「要留意」分を除く

② 県政に係る広聴

該当なし

③ 情報公開・個人情報保護

公文書開示請求件数	1件
個人情報開示請求件数	0件

④ 行政手続きに係る事務処理

該当なし

(3) NPO、ボランティアとの協働

該当なし

(4) 国際交流の推進

該当なし

(5) 地域振興

① 中山間地振興

ア 集落再生システム構築事業

日野郡内の3集落を対象に町と協力して、集落毎の課題解決を行い、住み慣れた集落で暮らし続けるための仕組みづくりや集落を守り持続していくためのシステムの構築を住民と一緒に取り組んだ。各集落の状況は下記のとおり。

○江府町宮市原集落

集い場づくりから始め、その場所を地域活動の拠点にし、健康づくりにつなげ、集落を景観整備で蘇らせ、集落で採れた農産物を使った生き甲斐づくりに発展させることができた。

○日野町諏訪集落

地域の生活環境悪化を招いている竹林の駆除の取組をきっかけに、その竹を使ったコミュニティビジネスと景観整備につなげ、集落サロンの開始が女性グループによる唐辛子を使った特産品づくりにつながった。

○日南町湯河集落

高齢者福祉の取組強化として集落で開催されているサロンの発展形として、最後まで暮らしつづけるための支え合いのムラづくりに取り組んだ。また、ローカルエネルギー開発研究を行い、経済と雇用

を地域循環する仕組み研究にも取り組んだ。

イ タイアップ「現場支援」事業

R元年度から始めた日野郡3町と日野振興センターがタイアップした「現場支援」の取組は、R元年度9地区からR2年度は20地区に増え、座談会の開催やアクション型リサーチや地域づくりカルテ、夢ビジョンの提示など地域にアプローチを行ったことにより、地域に動きが生まれ、地域で集いの場（サロン）の開催やコミュニティビジネスなど地域課題解決の取組につなげることができた。

② 定住促進

管内3町に対して、移住定住施策の推進に係る相談受け入れや助言を行うとともに、移住定住推進交付金や空き家確保支援補助金により取り組みの支援を行った。

(単位：千円)

	日南町		日野町		江府町	
	件数・戸数	県負担額	件数・戸数	県負担額	件数・戸数	県負担額
移住選任相談員の配置	1件	1,000	1件	1,000	—	—
移住者のための空き家改修補助	5件	1,050	—	—	3件	1,500
移住者のための空き家家財道具処分補助	5件	250	—	—	1件	100
お試し住宅の整備	—	—	—	—	—	—
空き家修繕費概算見積り委託	5件	50	—	—	—	—
合計 (前年度)		2,350 (1,261)		1,000 (3,580)		1,600 (3,666)

③ 交流促進・観光振興

「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載

(6) 商工業の振興等  
該当なし

(7) 農商工連携の推進  
該当なし

(8) 危機管理の対応

・マニュアルの整備

災害対策本部運営、情報連絡員業務要項、消防計画、新型インフルエンザ、鳥インフルエンザ、口蹄疫、原子力防災 等

・研修の実施

災害情報システム操作、情報連絡員（リエゾン）、鳥インフルエンザ、原子力防災、緊急地震速報（Jアラート）対応 等

(9) その他

① 窓口受付件数

業務名	相談区分			受付 (D)	合計 (C) + (D)
	窓口 (A)	電話 (B)	小計 (A) + (B) (C)		
税務	130件	0件	130件	71件	201件

② 犬、猫の引取件数（西部生活環境局へ引き渡し）

区分	件数	頭数
犬	0	0頭
猫	0	0頭

# 農 林 業 振 興 課



15 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	林業振興費（現年）	（令和3年1月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
竹林整備事業	放置竹林の有効活用による竹林の適正な管理を実施するため補助した。 1箇所 0.13ha	
森林整備担い手育成総合対策事業	林業の新規就労者に対する研修の実施を通じて、担い手を育成・確保することを目的とする。OJTの研修を実施することにより、新規就労者の技術等の向上を図る。 林業事業体が雇用する林業労働者に係る社会保険料の事業主体負担に要する経費及び安全衛生技能講習の受講等に要する経費を助成する。 労働安全衛生環境の整備、福利厚生等の充実が図られ、更に林業労働者を育成・確保しやすい環境が整った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑の雇用（株）御神山業2名、久代林業1名、中部林産(株)2名</li> <li>・ 木材運搬等効率改善事業 4名</li> <li>・ 社会保険料掛金助成事業 延べ16名</li> <li>・ 安全衛生技能講習支援事業 延べ9名</li> <li>・ 安全・安心を確保するための装備・器具等購入費助成事業 92個</li> </ul>	
きのこ王国とっとり推進事業	原木しいたけ等の生産体制の整備、原木の安定確保を行う生産者等の取組を支援する。 きのこ王国ととりの推進が図られた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原木安定供給支援 鳥取式作業道 300m</li> <li>・ 生産拡大支援 植菌本数 2,012本</li> </ul>	
青年林業グループ活動支援	林業経営体間における若手林業従事者等の交流を助長し、自主的なグループ活動を通じて効率的で安全な林業を実践するために必要な知識・技術・意欲の向上を図り、担い手の育成・確保に資する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小丸太組合 作業道研修開催 参加者12名</li> </ul>	
未来の林業を担う即戦力人材確保育成事業	森林及び林業に関する知識及び技術を習得し、将来的に林業の中核を担うことが期待される人材を育成することにより、林業への就業意欲を喚起し、新規就業者の確保を図ることができた。  緑の青年就業準備給付金 給付金受給者 6名 林業分野への就業予定者 6名 給付金給付額 7,327,998円（1,221,333円/人）  安全衛生技能講習等支援 対象とする講習数 13	

鳥取県即戦力人材育成 確保支援事業	<p>県内の林業事業体へ就業を予定しているにちなみ中国山地林業アカデミーの研修生に準備金を支給する日南町を支援することで、森林及び林業に関する知識及び技術を習得した人材を育成・確保し、本県の林業、木材産業等の振興を図ることができた。</p> <p>交付決定額 852,000円</p>
森林整備のための地域 活動支援事業	<p>森林所有者又は森林経営の委託を受けた者による計画の作成、森林施業の集約化、並びに森林所有者等による施業の実施に不可欠な地域活動に対する支援。</p> <p>日野町、江府町において経営計画作成同意を森林所有者から取得し、次年度の経営計画作成の足がかりとする。</p> <p>森林経営計画作成促進・・・日野町172.5ha、江府町138ha</p>
間伐材搬出等促進事業	<p>間伐材の原木市場、製材加工施設等への出荷・販売に要する経費の助成事業を実施したことにより間伐が進み、資源の有効利用が図られた。</p> <p>6事業主体 搬出材積 66,084.064m<sup>3</sup></p>
路網整備推進事業 (林業再生事業)	<p>目的 高密度路網の整備により、森林集約化の促進、素材生産性の向上、素材生産コストの低減、労働環境の改善を促し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と森林資源の有効利用及び林業従事者の安定的な確保を図る。</p> <p>実績 ・林業専用道作設 2路線 1,490m ・補強 2箇所</p> <p>成果及び効果 森林の集約化と、適正管理のための基盤整備を行い、森林資源の有効利用に寄与した。</p>
低コスト林業機械リース等支援事業	<p>目的 機械化の整備により生産性向上及び労働負荷、搬出コストを低減し、持続性のある産業構造に改善することで森林の適正管理と間伐材の有効利用を図るため、高性能林業機械の購入又はリース・レンタルに係る経費への助成。</p> <p>実績 リース：ハーベスタ 1台、プロセッサ 1台、フェラバンチャー 1台、グラップルソー 1台、グラップル 3台、バックホウ 3台、フォワーダ 6台、トラック 2台 購入：ハーベスタ 1台、バックホウ 1台、トラック 1台</p> <p>成果及び効果 森林の適正管理と間伐材有効利用に寄与した。</p>
とっとり県民参加の森 づくり推進事業	<p>森林を守り育てる意識を醸成するための森林企画体験等を支援。</p> <p>2団体が森林教室や源流探訪を行い、森林を守り育てる意識が育てられた。</p>
林業成長産業化地域創 出モデル事業	5 主な事業に関する調べに記載



目 名	林業振興費（明許）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
路網整備推進事業 （鳥取県合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業）	<p>目的 「総合的なTPP等関連政策大綱」（平成27年11月25日TPP総合対策本部決定）に即し、地域材の競争力強化に向け、生産性向上等の体質強化を図るための合板・製材工場等の整備とそれらに向けて原木を安定的に供給するための間伐材の生産及び路網整備等を一体的に実施する取組を支援</p> <p>実績 ・ 林業専用道作設 1路線 800m ・ 補強 1箇所</p> <p>成果及び効果 管内の間伐材生産及び拠点施設への販売を促進するための基盤整備を行い、地域材の競争力強化を図った。</p>	
林業・木材産業強化総合対策事業 （鳥取県合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業）	<p>目的 「総合的なTPP等関連政策大綱」（平成27年11月25日TPP総合対策本部決定）に即し、合板・製材・集成材等の競争力を高めるため、間伐材の生産、不良木の淘汰、支障木やあばれ木等の伐倒、搬出集積等の実施に要する経費に助成を行うことにより、原木供給の低コスト化等を通じた体質強化を図る。</p> <p>実績 ・ 間伐材生産 39.45ha</p> <p>成果及び効果 管内の間伐材生産及び拠点施設への販売を促進し、地域材の競争力強化を図った。</p>	
林業成長産業化地域創出モデル事業	5 主な事業に関する調べに記載	

目 名	森林病虫害防除費（現年）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
ナラ枯れ対策事業	<p>カシノナガキクイムシの駆除とまん延防止。 江府町、日野町及び日南町において被害木607本（立木くん蒸、立木シート被覆）、190m<sup>3</sup>（伐倒搬出）を駆除し、森林の機能確保に寄与した。 日南町において、ナラ枯れの拡大を防止するためナラ林15haを皆伐更新し、若返りを図った。</p>	

目 名	森林病虫害防除費（明許）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
ナラ枯れ対策事業	カシノナガキクイムシの駆除とまん延防止。 江府町において昨年度の被害木167本をカシノナガキクイムシの脱出時期までに駆除し、森林の機能確保に寄与した。	

目 名	造林費（現年）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
令和2年度生山採種園維持管理業務	県営生山採種園の維持管理に必要な薬剤散布及び下刈を実施した。 下刈り4,74ha、薬剤散布1,360本（2種・4回）	
造林事業	森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、森林組合等の実施する森林整備事業に対して助成した。 森林環境保全直接支援事業 116.81ha 森林経営計画における施業の推進に寄与した。	
造林事業（美しい森林づくり基盤整備交付金推進）	森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、美しい森林づくり基盤整備交付金事業を行っている市町村に対して助成。 造林事業（美しい森林づくり基盤整備交付金推進） 多面的機能の高度発揮の促進に寄与。	
早生樹モデル林造成事業	<p>目的</p> <p>森林整備の効率的かつ円滑な実施のため、成長特性に優れた早生樹のモデル林造成に対し、支援する。</p> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コウヨウザン植栽 0.6ha</li> </ul> <p>成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の育林施業において、下刈期間の短縮による省力化及び早期の素材生産を図ることにより、森林整備の推進に寄与した。</li> </ul>	
鳥取県保育間伐等雇用支援事業	<p>目的</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響下において、需要に応じた生産活動を行う林業経営体等の能力向上、林業としての雇用維持及び森林・林業の課題解決を図る。</p> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育間伐 80.5ha</li> </ul> <p>成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により木材需給が滞り、間伐材の出材ができなくなったところ、保育間伐を行うことにより、林業としての雇用の維持に寄与した。</li> </ul>	
日野地域ニホンジカ生息状況・森林衰退度調査	日野郡内で増加しつつあるニホンジカの効果的な防除方法を検討するため、ニホンジカの生息状況、森林の衰退度を専門機関に委託して調査した。	

目 名	造林費（明許）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
造林事業	森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、森林組合等の実施する森林整備事業に対して助成した。 森林環境保全直接支援事業 3.82ha 森林経営計画における施業の推進に寄与した。	

目 名	林道費（現年）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
森林環境保全整備林道事業	とっとり森と緑の産業ビジョンによる持続可能な森林経営の確立を推進するとともに、適正な森林整備の推進により森林の多面的機能の高度発揮を図るため、森林整備を効率的に行う上で不可欠な、林内路網の幹線である林道（森林基幹道・林業専用道）を整備する。 県営 森林基幹道 窓山線（新屋工区） 未成（土工）L=341m	
農山漁村地域整備交付金事業	地域における林業生産の向上と林業従事者の定住化の促進、及び山村地域の活性化に資するため、林業生産及び生活環境の基盤整備を総合的に行うもので、山村振興に大きな役割を有する林道開設を実施。 県営 森林基幹道 宝仏山2号線（金持工区） 未成（土工）L=218m	
林道改良事業	既設林道の機能向上のため、法面の改良及び道路の改良を行う。 県営 森林管理道 大平線 道路改良 L=397m 団体営 森林管理道 船通山線 法面改良 L=62m	
林道点検診断・保全整備事業	既設林道について、橋りょう等の点検診断を行う。 団体営 伯耆町 2橋、1トンネル	
県単林道事業	県が管理している林道の維持・補修を実施。 補修 森林基幹道 行者山線、窓山線 2路線、森林管理道 大平線 1路線 維持 森林基幹道 宝仏山2号線、行者山線 2路線	

目 名	林道費（明許）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
農山漁村地域整備交付金事業（フォレスト・コミュニティ総合整備事業）	<p>地域における林業生産の向上と林業従事者の定住化の促進、及び山村地域の活性化に資するため、林業生産及び生活環境の基盤整備を総合的に行うもので、山村振興に大きな役割を有する林道開設を実施。</p> <p>県営 森林基幹道 窓山線（新屋工区） 完成（舗装）L=604m</p>	
道整備交付金事業	<p>少子高齢化、農山村における過疎化の進展など、社会情勢の変化に適切に対応するために一定地域で県及び町が策定する「地域再生計画」に基づき林道整備を実施。</p> <p>県営 森林基幹道 窓山線（多里工区） 未成（法面）L=868m 完成（舗装）L=870m</p> <p>県営 森林基幹道 行者山線（大木屋工区、赤谷工区） （大木屋工区）未成（土工、法面）L=506m、完成（舗装）L=390m （赤谷工区）未成（土工、法面）L=260m、完成（舗装）L=165m</p> <p>団体営 森林管理道 内方線 完成（舗装、法面）L=2562m</p>	
林道改良事業	<p>既設林道の機能向上のため、法面の改良を行う。</p> <p>県営 森林管理道 大平線 法面改良 L=100m</p> <p>団体営 森林基幹道 船通山線 法面改良 L=31m</p>	
林道舗装事業	<p>既設林道の機能向上のため、舗装を行う。</p> <p>県営 森林管理道 大平線 舗装 L=280m</p>	
県単林道事業	<p>県が管理している林道の維持・補修を実施。</p> <p>補修 森林基幹道 行者山線 1路線</p>	

目 名	林道費（事故）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
農山漁村地域整備交付金事業（フォレスト・コミュニティ総合整備事業）	<p>地域における林業生産の向上と林業従事者の定住化の促進、及び山村地域の活性化に資するため、林業生産及び生活環境の基盤整備を総合的に行うもので、山村振興に大きな役割を有する林道開設を実施。</p> <p>県営 森林基幹道 窓山線（新屋2工区） 未成（土工）L=627m</p>	

目 名	林道施設災害復旧費（明許）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
林道施設災害復旧事業	令和元年に発生した自然災害により被災した林道施設の復旧を実施。 ○台風19号災害(R1.10.12~13) ・ 県営林道 大平線 1箇所	

目 名	林道施設災害復旧費（事故）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
林道施設災害復旧事業	平成30年に発生した自然災害により被災した林道施設の復旧を実施。 ○平成30年7月豪雨災害(H30.7.5~7) ・ 団体営事業の補助 日南町 窓山線外1路線 3箇所 ○台風24号災害(H30.9.29~10.1) ・ 団体営事業の補助 日南町 小熊井谷線外1路線 2箇所	

目 名	県営林事業特別会計 管理事業費（現年）	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
令和2年度板井原県有林維持管理作業	板井原県有林内の林道及び作業道の維持管理のため、除草、側溝清掃等を実施した。 林道除草4,942㎡、作業道除草21,144㎡、側溝清掃279m、 樹清掃6箇所	

16 用地取得の状況調べ  
該当なし

17 登記の状況調べ  
(1) 登記の状況  
該当なし

(2) 未登記の解消状況  
該当なし

18 林業改良指導活動状況調べ

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
施業集約化の支援	日野町 大山町 南部町 伯耆町 米子市 江府町 管内各森林組合 推進アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町が新制度で管理する環境林の決定条件を日野局が考案</li> <li>・GISで見える化する環境林のイメージを町と組合に説明</li> <li>・森林整備の役割分担について提案</li> <li>・環境林（手遅れ林分）の災害リスクを考慮した整備方法を協議</li> <li>・環境林と経済林のゾーニング案及び、環境林の整備方法について県と町、森林組合による意見交換</li> <li>・ゾーニング最終案（見える化、数値化）について意見交換</li> <li>・ゾーニングの数値化データから森林整備の全体計画を検討（江府町）</li> <li>・江府町以外へゾーニングと全体計画を普及するため他町、関係事業者と意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーニングにより町の向かう場所、事業量が明確になり、受けての事業者も体制強化が可能となった。</li> <li>・他市町に波及して同様に検討しはじめた</li> </ul>

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
森林施業推進のための環境整備	日南町森林組合 鳥取日野森林組合 鳥取県西部森林組合 林業事業者	<p>（1）施業プランナーのスキルアップ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レーザ航測データを活用するための森林GISの操作研修会、巡回指導</li> <li>・施業提案書の検討</li> </ul> <p>（2）路網構築に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規参入者向け鳥取式作業道作設研修実施</li> <li>・新規鳥取式作業道開設士の巡回指導技術向上研修各事業者、オペレータの現場に出向きマンツーマンで技術指導</li> <li>・鳥取式作業道作設管理写真見本例の作成</li> <li>・日野川左岸の林業専用道をICT活用図面で検討、提案した。</li> </ul> <p>（3）森林施業・作業システムのゾーニング作成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タワーヤダの施業適地の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林GISや航測データの利用がすすみ省力化が図られた。</li> <li>・プランナーによる施業見積もりの提示が必要なことが再認識された。</li> <li>・鳥取式作業道作設に新たに6事業者が取り組むことになった。</li> <li>・鳥取式作業道講習会に3事業者が受講した。</li> <li>・若手林業者団体が鳥取式作業道研修会を自主開催した。</li> <li>・路網作成支援ソフトの有効性が認識されICT化に向かっている。</li> <li>・車両系によらない施業について検討がはじまった</li> </ul>

# 農業振興室





15 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名 農業総務費（現年）		（令和3年1月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
がんばる農家プラン事業	<p>意欲ある農業者等が作成した、生産販売等に係る地域の特色を活かした改善計画（プラン）に対して、実現に必要な支援を町とともにいき、地域農業の振興と活性化を図る。</p> <p>○審査会：3回開催（プラン認定新規6件、変更3件）</p> <p>○事業実施：日南町3件（個人1、法人2）、江府町1件（法人1件）</p>	
新規就農者総合支援事業（就農条件整備事業）	<p>将来、本県の効率的かつ安定的な農業経営の担い手となるのにふさわしい青年等の就農の促進及び自立を支援するため、新規就農者の就農初期の経営基盤整備の負担軽減を図ることを目的とする。</p> <p>○事業実施：日南町1件</p>	
新規就農者総合支援事業（就農応援交付金）	<p>新規就農者の経営が早期に安定し、これらの者が本県の農業の担い手として定着することを目的とする。</p> <p>○事業実施：日南町1件</p>	
集落営農体制強化支援事業	<p>集落営農において機械施設の整備等を支援するとともに、組織の継続性の確保と集落農地の維持が出来る体制づくりを図り、次世代への運営の継承を円滑に進める。</p> <p>○事業実施：日南町6組織</p>	
非対面型販売促進事業	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、対面販売ができず、売上が低迷している県産農林水産物を取り扱う食品加工業者等が取り組む非対面型の商品販売等を支援し、6次産業化や農商工連携を進め、地域経済の活性化を図る。</p> <p>○事業実施：日野町1件（個人1、法人0）</p>	

目 名 農業金融対策費（現年）		（令和3年1月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
農業近代化資金等利子補給事業	<p>認定農業者が効率的・安定的な経営体を目指し、農業近代化資金、農業経営基盤強化資金等を借り受ける場合に、利子負担を軽減することにより、経営の安定化を図ることを目的に支援を行う。</p> <p>○事業実施：日南町2経営体</p>	

目 名 農作物対策費（現年）		（令和3年1月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
有機・特別栽培農産物等総合支援事業	有機・特別農産物の生産振興を図るために、生産、販売ならびに消費者交流などの積極的な取り組みを行う農家を支援する。 ○事業実施：日南町1件	
鳥取県鳥獣被害総合対策事業	野生鳥獣による農林産物への被害を減少させるため、鳥獣侵入防止柵の設置、有害鳥獣捕獲等を支援する。 ○事業実施：日南町、日野町、江府町	
鳥取県鳥獣被害防止総合対策交付金	野生鳥獣による農林産物への被害を減少させるため、鳥獣侵入防止柵の設置、ニホンジカ有害捕獲、被害防止技術の指導普及を担う鳥獣被害対策実施隊の活動等を支援する。 ○事業実施：日南町、日野町、江府町、日野郡鳥獣被害対策協議会	
日野郡鳥獣被害対策協議会支援事業	5 主な事業に関する調べに記載	

目 名 農作物対策費（明許）		（令和3年1月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	国事業の産地パワーアップ事業を活用して、県が開発した鳥取型低コストハウスの導入を推進し、高収益な野菜・花き等のハウス栽培品目の生産振興を図る。 ○事業実施：日南町農業再生協議会	

目 名 畜産振興費（現年）		（令和3年1月31日現在）
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
鳥取和牛振興総合対策事業	「和牛王国」復活に向けて繁殖雌牛、和子牛の増頭及び肉牛の出荷頭数の増加、鳥取和牛ブランドの確立のために、和牛繁殖雌牛の購入の支援を行い、県内和牛農家の経営安定を図る。 ○事業実施：日南町（購入8頭、自家保留8頭）、日野町（購入9頭、自家保留3頭）、江府町（購入1頭、自家保留2頭）	

16 用地取得の状況調べ  
該当なし

17 登記の状況調べ

(1) 登記の状況

該当なし

(2) 未登記の解消状況

該当なし



# 日野農業改良普及所



15 事業別予算執行状況調べ

目 名	農業改良普及費	(令和3年1月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県農業改良普及事業	改良普及員が普及指導計画に基づき、新品種新技術の普及や技術改良指導及び地域農業振興について助言や支援を計画的に行った。 ※「5 主な事業に関する調べ」に記載	

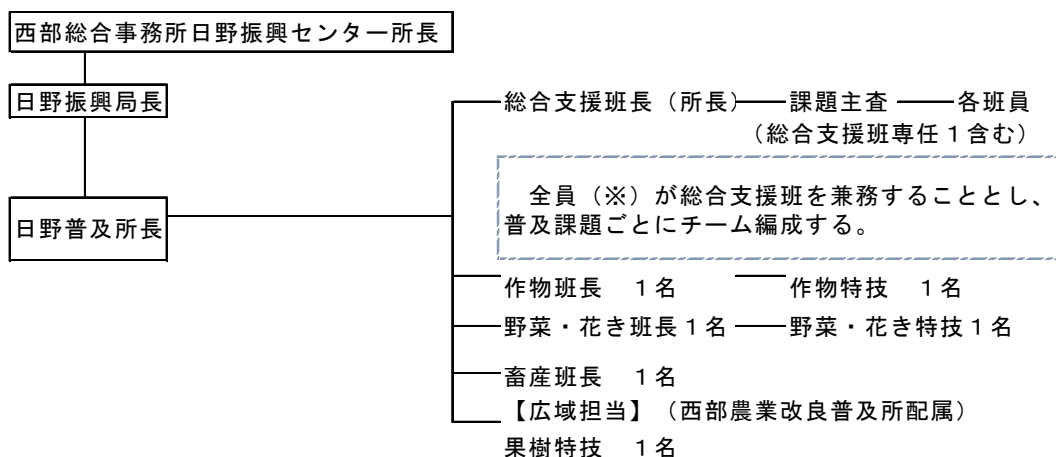
16 農業改良普及事業

(1) 普及事業の実態

ア 基本方針

「地域を担う農業者の育成・自立」をミッションに掲げ、担い手農業者等の経営発展と新規就農者の育成、農畜産物の安定生産、地域農業の振興等について活動を行った。

イ 活動体制



(2) 農業改良普及所の担当地区

(令和3年1月31日現在)

市町村名	担 当 地 区 の 状 況							
	田 ha	畑 (樹園地、牧草地含む) ha	計 ha	販売農家数 戸	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 羽
日南町	1360	143	1510	676	61	243	8,490	292,933
日野町	361	45	406	255	78	49	0	0
江府町	552	204	552	416	130	29	0	0

注1 耕地面積、販売農家数は農林水産省ホームページ「わがマチ・わがムラ」各町基本情報による耕地面積は令和元年値、販売農家数は平成27年値

注2 家畜頭数は普及所畜産班調べ(令和3年1月31日現在)による。(ただし、乳・肉用牛は親牛とする。)

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
中山間地での星空舞の生産振興	星空舞栽培農家 75戸 47ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培基準の徹底と適期管理の推進を図った。</li> <li>高標高（標高150m以上）の栽培適性確認を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標高150m以上でも収量性や品質に問題がなかった。</li> <li>県全体の推進地区が標高300mまでに拡大した。</li> </ul>
中山間地に適応した水田農業の担い手育成と支援	水田農業担い手 重点対象：5経営体 日野郡中山間営農ネットワーク協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規法人設立支援。</li> <li>重点対象5経営体に対する個別目標や水稲反収向上支援。</li> <li>日野郡中山間営農ネットワーク協議会への運営とスマート農業に対する支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規設立法人1（江府町）</li> <li>重要課題解決7割、反収向上目標達成4割。</li> <li>新型コロナで活動が制限される中、農大生との就農マッチングが実施でき好評だった。</li> </ul>
白ねぎ作業改善の推進	白ねぎ生産者 (44戸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>西部地区の3普及所が連携して、作業方法改善案の検証、腰痛対策の普及推進、出荷調整作業の効率化推進に取り組んだ。</li> <li>収穫調整作業の優良事例（日野2戸）をとりまとめ、作業マニュアルに反映等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねぎレーキの改良は最終段階にあり、商品化予定。</li> <li>パンフレット作成、Youtubeに白ねぎ腰痛対策の関連4本（講演、腰痛体操、作業の工夫等）を一括してアップし、農業者等の活用を促進。</li> </ul>
日南トマトの産地強化	日南トマト生産部 (47戸) 重点対象：6戸 (新規就農者4戸を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日南トマト情報（技術情報紙）を作成し、リアルタイムの情報提供を行った。</li> <li>青年部会員が各自目標を明確に栽培に取り組んでおり、達成に向け個別支援した。</li> <li>日南試験地と連携し、耐病性台木キングバリアへの切り替えを検討した。</li> <li>選果場新設に係る検討会に出席し助言した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会販売額は計画を上回る1.79億円（過去3番目）、反収8.3t（過去2番目）の成績を収めた。</li> <li>青年部の技術力が向上し、反収10tを超える会員が6名と全体の6割を占めるようになった。</li> <li>キングバリアが導入されることになった。</li> <li>産地ビジョン策定の取り組みが始まった。</li> </ul>
白ねぎ、ピーマン等の生産性向上と産地維持	日南支所白ネギ生産部（23戸） 日野町蔬菜園芸部会（8戸） 江府町白ネギ生産部（15戸） JA鳥取西部ピーマン生産部会（38戸） 重点対象：8戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>白ネギの定植作業の軽労化を図るため、チェーンポット栽培を推進した。</li> <li>ピーマン、白ネギ推進チラシを作成し、支所窓口に配架し、江府町では、町報にも掲載された。</li> <li>日野町のピーマン新規栽培者、日野町、江府町の白ネギ新規栽培者を重点的に支援した。</li> <li>日野町地域プランの取り組みの中で、JA、生産者等と推進に向けた協議を重ねた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーンポット導入農家が7→13戸に増加した。</li> <li>白ネギ栽培農家が4戸、ピーマン農家3戸増加した。</li> <li>ピーマン新規栽培者は、高反収をあげ、町のモデルとして推進について協力が得られる見込みである。白ネギの新規栽培者も好成績を上げる農家もあり、いずれの生産者も面積増の計画である。</li> <li>令和3年産に向け、プランと連携した新規栽培者向け講習会を実施することとなった。</li> </ul>



畜産産地再興を目指した担い手の育成と支援	和牛部会 (40戸) 酪農(2戸) 重点対象: 10戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲノム育種価による高能力牛の増頭確保支援やM牛子牛合格率向上を進めた。</li> <li>若手農業者等への現地巡回や簿記等の支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高能力牛の把握がすすみゲノム育種価の高い雌牛が郡内に保留された。</li> <li>M子牛の合格率が向上した。</li> <li>若手農業者の子牛の発育が改善し、セリ単価が上がった。</li> </ul>
梨の生産安定と産地振興(広域)	江府町農業公社 (品種: 新甘泉)	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル園 12a の栽培管理指導</li> <li>収穫体験等PR開催支援</li> <li>農業経営基盤強化促進に関する基本構想の営農類型に新甘泉を位置づけるため、試算作成等を支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売実績 7655 玉(計画比 96%)</li> <li>町報 10月号で新規栽培者募集記事が掲載された。</li> <li>新甘泉を含む営農類型が新たに加わった。</li> </ul>

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業名	該当地区	援助指導状況	成果・結果
みんなでやらいや農業支援事業	日南町 日野町 江府町	意欲的な農業者の事業計画の作成について新規日南町で5件、継続日野町1件、江府町1件で支援した。	「がんばる農家プラン」は新規が4件、継続が2件事業執行された。
新規就農者総合支援事業	日野町 江府町	新規就農希望者の相談を受け、助言を行った。	申請には至らなかったが、農業は継続する。
集落営農体制強化支援事業	日南町 日野町 江府町	意欲的な集落営農の事業計画の作成について日南町で5件、日野町で1件、江府町で1件支援した。	日南町で5件、日野町で1件、江府町で1件が事業執行された。(年度内見込)
スマート農業技術実証事業	日南町	事業実施主体と県ととり戦略課と農試と連携した現地試験について実施主体と各機関への連絡調整や調査を実施した。	ドローン直播一貫体系実証試験が0.7haで実証された。

(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示圃(農業改良普及活動促進事業)の設置状況調べ

(令和3年1月31日現在)

事業名	展示目的	展示内容	実施場所	実施者名	事業費	事業量計画(実績)	展示期間	指導した期間	支払額	支払年月日
農業改良普及事業	ラジコン式除草機の導入効果検証	除草機の作業時間や作業性の確認	日南町 茶屋	(農) Eコファーム HOSOYA	10,000円	5a (5a)	令和2年8月 ~ 令和2年12月	令和2年8月 ~ 令和2年12月	10,000円	令和3年2月1日 (予定)
〃	水田転換畑における白ねぎの乗用管理機の実用性検証	乗用管理機の作業時間と作業性により普及性を検証	日南町 下石見	(有) アルファ ビジネス	10,000円	12a(12a)	令和2年4月 ~ 令和2年11月	令和2年4月 ~ 令和2年12月	10,000円	令和3年2月2日 (予定)

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、資料様式、その他監査に関する要望、改善点等)

特になし

